

「新制服の導入・校則の改定」

~ 時代の趨勢を見極めた「魅力ある学校づくり」~



令和6年11月6日(水)南都留地域教育フォーラム

第1大分科会 「誰一人取り残されない教育」





はじめに

○学校紹介(詳細は本校ホームページをご覧ください)



創立59年 都留市の北半分が学区 禾生一小・禾生二小・宝小・谷村一小の一部より入学 全校生徒数 315名 通学手段 徒歩・自転車・電車・バス 校訓 「日新」

○きつかけ・発端は・・・(赴任1年目:令和4年)

ある日, ある場所で, 校長・教頭の会話(学校の現状等についての会話の中で)

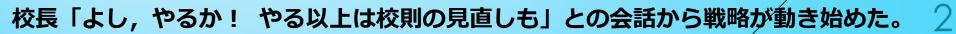
校長「前任校でも,下校時刻を早めるなど色々と改革してきたよ」

教頭「そうですか。... 校長,"制服の改定"どうですか?」

校長「"制服改定"ね,俺も考えていたよ。うちの実態は?」

教頭「女子のズボンなど、保護者や生徒からの相談もあります」

(数日後)



時代の趨勢を見極めた,「魅力ある学校づくり」

都留第二中学校の制服が新しくなります!

=ネクタイ・リボンは、いずれかを選択できます=







中学校生活をより快適&安心して過ごせるよう、 機能性にもこだわりました。



《兼用前合わせ》 前合わせは自由に変更可能



《名札吊り》 《反射ライン》





(スラックス)

丈6cmUP

(ブレザー) 袖丈3cmUP

(スカート) ウエスト6cm調整

《成長機能》

その一つが「新制服導入」 (HPに掲載中)

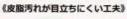
~202A年AR/ 都留第二中学校の制服が新しくなります!

=紺ポロシャツ・白ワイシャツは、いずれかを選択できます=











チェック柄の切替えは デザインのボイントと共に、 皮脂汚れが日立たなくなる というメリットも0



《スカート》 ウエスト6cm開発



(スラックス) 文6cmUP 4

- *制服改定の主な理由(詳細は後述)
 - 1 多様性(生徒の実態/生活様式の変化)に対応

2 健康面(暑さ/寒さ)に対応

- 3 経済面(保護者の負担軽減)に対応
 - → 「購入品全体でかかる費用」を抑える

1 多様性(生徒の実態/生活様式)に対応

- ・LGBTQ:制服が原因で「不登校」
 - 世の中の流れ「多様性容認・支持の世論」
- ・男女兼用:ブレザーのデザイン・夏のポロシャツ
- ・選択制(男女ともに選択可能):
 - ・スラックス/スカート
 - ・ネクタイ/リボン

<1年生の様子>

- *女子 スラックス:43名中3~5名着用
- *女子 ネクタイ:リボン=3:7(13名:30名)
- *男子 現段階で,スカート・リボンの着用はないが・・・



2 健康面(暑さ/寒さ)に対応

・「暑さ」:異常な気温上昇への対応

熱中症予防の観点

透けない紺のポロシャツ

・「寒さ」:耐久性の強い丈夫な生地



保温性に優れた生地 ネクタイ・リボンで保温 従来の制服同様,中で調節

経済面(保護者の負担軽減)に対応

価格:税込

従来の制服

男子冬上下 38,280円

(詰め襟/スラックス)

女子冬上下 38,830円

(セーラー/スカート)

新たな制服(ネクタイやリボンは別売り)

男子冬上下 39,160円 (+880円)

(ブレザー/スラックス)

女子冬上下 39,180円 (+350円)

(ブレザー/スカート)

男子夏上下 11,990円

女子夏上下 23,090円

10.000円 13.090円

男子夏上 4,620円 (-7,320円)

(ワイシャツ/希望者は夏用スラックス) (紺ポロシャツの場合/スラックスは通年)

女子夏上 4,620円 (-18,470円)

(半袖セーラー/希望者は夏用スカート) (紺ポロシャツの場合/スカートは通年)

*参考:従来の「指定スクールバッグ(約13,000円)・サブバッグ(約5,000円)

廃止し,各自で購入可能 ⇒ 学校用のみならず,私用・卒業後も使用可能

*新制服のコンセプト(「多様性」「柔軟性」「時流と伝統」)

- ◎多様性に対応し(男女区別撤廃)生徒の実態や希望を可能な限り反映させる 具体的には・・・
 - 1 男女共通(ブレザー・夏の紺ポロシャツ/ワイシャツ)
 - 2 選択(スカート/スラックス・ネクタイ/リボン)
 - 3 都留二中の特徴を生かした独自のデザイン
 - 4 従来の制服の「紺色」と、スクールカラーの「えんじ色」を生かす
 - 5 価格・安全性・機能性・耐久性・伸縮性 を重視
 - 6 3年間着用可能 袖・裾の調整/撥水の生地
 - 7 エンブレムやボタンは在校生が決定
 - 8 ブレザー前襟部分に「えんじのライン」(校長のこだわり)
 - 9 シンプルで飽きのこないデザイン
 - 10 卒業後や学校以外でも使える用品(ポロシャツ・バッグ)

* 校則の改定(制服改定に合わせて)

- ・指定のバッグ廃止(在庫・価格)
- · 名札廃止(個人情報保護)
- ・男女混合名簿導入
- ・頭髪(2ブロック), スカートの長さ(膝を覆う)等
- ・R05「体育着」全面改定(男女共通)
 - 上:えんじ色 下:紺色 のツートーン (県内では珍しい)
- ・衣替え移行期間(夏⇔冬)の弾力化



*「制服改定」までの経緯(主なもの)

```
学校運営会議・職員会議(以降随時進捗状況等説明)で提案
  RO4 06月
        市教育委員会・市校長会・歴代校長などへ相談,報告
    07月
        学区の小学5・6年生児童・保護者へアンケート/在校生へ構想伝達
3
    09月
        制服販売組合・制服メーカーに相談
4
    10月
    12月 メーカー4社に企画書を依頼し,書類選考を実施→2社に絞る
5
  RO5 02月 2 社を対象に, プレゼン実施(生徒も参加)→ 1 社に決定
        決定したメーカーとの打合せ(価格・タイムスケジュール等
    03月
        以降, デザイン・エンブレム&ボタン(生徒)等を決定
    04月
8
        生徒・保護者へ新制服のデザイン等正式決定を通知
9
    11月
    12月 入学説明会で披露・ホームページや回覧板等で地域にも周知
10
  RO6 4月 入学式にて新入生が「新制服」の着用を開始
```

* 今後の展望

- ・「都留二中平和宣言」「ISS」とのつながり
 - →「安心して生活できる学校づくり」を更に! (「制服の改定」はそのひとつ)
- ・令和9年度から完全実施へ 3年間(R06~R08年度)は移行期間
- ・必要があれば,更なる校則の改定(生徒の意見も考慮) 健康面安全面を重視・時代に即した校則

* 改定後の現在の様子

- ・1年女子: スラックス 3~5名着用(43名中)
- ・1年女子: ネクタイ:リボン=3:7
- ・1年男子: 今のところスカートやリボンなし
- ・1年男女: 一部は従来の制服着用
- ・評判は良い(生徒、保護者、地域、他校)
- ・各中学校(高校)から問合せがある
- ・2,3年生は従来の制服を支持
- ・ポロシャツ,夏は過ごしやすい(全学年購入可)

* 留意・重視したこと

- ・市教委や学区の保護者等の理解・協力を得る
- ・縦/横のつながり(連携)

縦:伝統の継承と将来への変化

横:各機関(制服メーカー・制服組合等)との

連携を重視/地域とのつながり

(CS:コミュニティ・スクール) も意識

- ・制服改定の情報発信(通知・HP)
- ・在校生や卒業生の関わり
- ・価格面(メーカーと交渉し可能な限り価格を抑えた)

*導入実現に必要であった条件/今後の課題

条件

- ・時代や学校体制のタイミング,教職員の理解
- ・地域,保護者や生徒の理解と必要性
- ・管理職の決断と、実行への決意・エネルギー
- ・(学校ごと背景環境等も異なる。あくまでも一例)

課題

- ・全国的な視野で,「校則・制服」のあり方の見極め
- ・原材料高騰などに伴う価格の上昇をいかに抑えるか

* おわりに

ひとつの伝統を変えることは,とても大きなことで, 「校長の決断と教職員の理解,タイミング,さらに 世の中の声」が揃って初めて前に進む,と考えます。

しかし,直接関わるのは今の若者(中学生)です。スピード感をもって,その時代(多様性等)に相応しい生活環境を整えるのも我々の役割です。「誰一人取り残されない教育」を目指します。

都留二中は,様々な改革(教育活動・校則・働き方)に引き続き挑戦していきます。生徒のためにも教職員のためにも。本日は提案の機会をいただき,ありがとうございました。